



あすぴあ通信

2016. 9
50号

発行：小平市民活動支援センター あすぴあ

連続4回講座 組織運営の肝をつかむ 第2回

会員のふやし方 未来の仲間をみつけるために

9月7日(水) 午後1時30分から4時
講師：長田英史さん(NPO法人れんげ舎代表)

仲間づくりのヒントの持ち帰りが目標のこの講座。アンケートでは参加者30名中、22名が目的を達成したと答えました。場づくりの専門家は、あっという間に個々が考える場をつくりあげたのでした。

流れは次のとおりです。

- 個人で「会員が増えるメリット」を考え、グループで共有。テーマの確認です。
- 増やしたいのは中心メンバーか、集客か、をイメージする。打つ手が変わるだけ。
- それには手順が必要と説く。商売では「買わない？」と誘う前に丁寧に相手が知りたいことを伝えますね。入会は買ってもらうまでの工夫と似ています。



会場の様子：真剣に思いを伝える

- 1面：会員のふやし方
未来の仲間をみつけるために
2～3面：座談会 日常生活と防災と市民活動
4面：講座予告、本の紹介 ほか

4. 出会いの入り口の場として条件は二つ。「気軽に参加できる」「活動の本質を反映している」。個々に自分の活動を振り返り、入り口の場となる事柄を書き出し、グループで共有。このときの聞く側のリアクションは貴重なアドバイスにつながるのです。

⑤各グループから一人、全体発表。講師からもリアクションがありました。なるほど。

最後は講師からのメッセージでした。求める相手とつながるためにには、ずれない発信力が大切、と言います。大事なことを大事なこととして伝えること。また、見た目より質だから、質が担保されているか自己チェックすることも欠かせないことです。自分が会の中心にいると思うと、考えやすいそうです。

メンバーの一人ひとりが自分で考え発信でき、互いがリアクションできるという丁寧な運営があれば光がさすかもしれません。(S)



グループをまわってコメントをする長田さん

ダンボールコンポスト つづきは3面



10月23日(日)

10時～16時

小平元気村おがわ東

